

令和5年度 社会福祉法人よしだ福祉会 事業経営計画

1. 基本理念

地域のみなさまに必要とされ、地域に根ざした施設を目指します

2. 基本原則

- (1) 利用者の皆様の基本的人権を尊重し、それぞれの個性を大切にします。
- (2) 地域社会とのつながりを大切にし、地域の皆様から必要とされる施設を目指します。
- (3) 利用者の皆様の満足が職員の満足となり、職員の満足が施設の満足となる法人を目指します。

3. 令和5年度事業経営計画（総括）

今年度は、とちのみ施設の大規模改修工事を予定しています。利用者等の負担を最小限にできるような事業の継続を図りながら改修工事を行なっていきます。

利用者や家族、地域社会、行政など、介護事業者を取り巻くあらゆる方々から信頼され、選択される安定した健全な経営が継続できるように法令遵守体制をさらに進めていきます。

地域の一員として生涯現役であり続けるための働く場として、また安心して生涯住み続けられる地域づくりを地域の企業と協力しながら事業展開を進めていきます。その地域、人を支えることのできる職員の人材確保、人材育成、地域のボランティア育成、資格取得支援等、地域の福祉人材育成も継続して行っています。

新型コロナウイルス感染症の終息の兆しが未だ見えない状況が続いています。よしだ福祉会の実情に応じ作成した感染症や自然災害に対する事業継続計画（BCP）に基づき、地域との協議を続けながら訓練の実施等を行なっています。

《令和5年度基本方針》

1. とちのみ施設の老朽化にともなうハード面の整備
とちのみ施設の改修（Ⅰ期改修）を事業の継続を図りながら行います。
2. 一人ひとりの望む暮らしの実現
 - ・ 一人ひとりの望む暮らしの実現を支援するため、基本的ケア、個別ケアの見直しを行います。
 - ・ 生涯現役、健康長寿のまちづくりを進めるため、継続的な健康づくり、介護予防の推進を図ります。
3. 福祉会の担い手づくり
 - ・ 組織力の強化を図るため、キャリア形成の支援体制を整えます。
 - ・ 法令遵守（コンプライアンス）意識の高揚、体制の明確化を図り、明るく健全な職場づくりを行います。
4. 介護人材の確保と人材育成
 - ・ ゆめひとつながり塾の活動を通し、地域の認知症サポーター養成、あいサポーター養成、資格取得支援等を行いながら、地域の福祉人材育成を図ります。
 - ・ 他施設とも連携を図りながら、介護だけでなく社会福祉・地域福祉に対し、情報発信・提言・計画実行できる人材を育成していきます。
5. 魅力ある地域づくり（地域と共につくるよしだ福祉会）
 - ・ 誰も取り残さない社会を目指し、高齢、障がいにとらわれず地域の一員として生涯現役であり続けるための働く場としての体制を整備します。
 - ・ 育児、介護、療養等と仕事が両立できるよう、両立支援を行うための環境整備を行います。
 - ・ 安心して生涯住み続けられる地域づくりを地域の企業と協働しながら進めるとともに、住み続けられる住まいの確保策をとちのみのⅡ期改修計画にて検討します。

部門別事業経営計画

《法人本部》

【目標】

法人経営の維持継続と、職員の人材育成に取組み、より良いサービス提供に努めます。

【基本方針】

1. 組織運営体制の充実を図ります。
2. 経営改善と財務の健全化に取組みます。
3. 人事、労務管理の充実を図ります。
4. とちのみ改修の実施、ケアポート改修の計画的推進に取組みます。
5. 情報管理と発信に取組みます。

《 通所介護 》

【目標】

利用者が利用したいと思って頂ける環境づくりを目指します。また、利用することで生活機能の維持・向上に努めます。

【基本方針】

1. 自然災害、感染症の発生時に利用者の安全を図るために、各部署と連携をはかりながら事業継続計画(BCP)の見直しを図ります。
2. 集いの場を開設し、地域の方との交流や、個別機能訓練の取り組みとして生活機能維持・向上に努めます。
3. 出席率向上・経営安定化に努めます。

《 ケアプランよしだ 》

【目標】

「住み慣れた地域で自分らしく暮らすこと」の応援ができるように、本人を中心に、訪問介護、通所介護、訪問看護等のサービス事業所と協働し、本人の自己決定をチームで支援し実現に向けて取り組みます。

【基本方針】

1. 面接技術の向上を図り、自己決定支援として、「ゆめ・ひと・つながり手帳」を作成し、可能な限り本人が自己決定できるように支援します。
2. 関係機関と連携し、事業継続計画(BCP)の見直しを図ります。
3. 誰もが暮らしやすい地域となるよう、地域に情報の発信をしていきます。

《ケアポートよしだ 研修センター》

【目標】

広く地域の福祉人材の確保と育成を行うと共に、認知症サポーター養成講座、あいサポーター養成講座、介護教室等を企画し、地域と共に誰1人取り残さない社会の実現を目指します。

【基本方針】

1. 初任者研修を実施し、地域の福祉人材の育成を行なっていきます。
2. 実務者研修を実施し、国家資格にチャレンジできる現職者の育成を図ります。
3. 介護福祉士受験対策講座を実施し、資格取得をサポートしていきます。
4. 認知症サポーター養成講座、あいサポーター養成講座を実施し、地域と共に福祉人材の育成を目指します。

《 訪問介護 》

【目標】

「住み慣れた地域で暮らし続ける」を支援するために、居宅、通所介護、訪問看護等のサービス事業所との連携、協働を図り、地域課題の解決に向かってチームで取り組みます。

【基本方針】

1. 認知症基本的ケアのスキルアップを継続に取り組みます
2. 家族支援として訪問介護ができる「介護者を孤立させない」「遠距離で暮らす家族との橋渡し」に取り組みます。
3. 自然災害、感染症の発生時に利用者の安全を図るため、各部署と連携をはかりながら事業継続計画（BCP）の見直しを図ります。
4. 利用者の自己決定支援として「ゆめ・ひと・つながり手帳」作成の支援とそこから始まる、ひとり1ケアに取り組みます。

《 ふかのの里 》

【目標】

住み慣れた地域で、家族・馴染みの方との関わりが継続でき、活き活きとした生活が続けられるよう、一人一人の背景を知り、思いを尊重するとともに、生活機能の向上を目指します。

【基本方針】

1. お一人、お一人の背景、思いを聞くことで、望む生活にすこしでも近づけるように、コミュニケーションの時間を大切にします。
2. 住み慣れた地域、家族、馴染みの方との関わりが途切れないよう、懸け橋となり地域に根差した事業所を目指します。
3. 質の高いサービスの提供を目指し、職員一人一人が目標を持ち、知識と技術の向上に努めます。
4. 随時、サービスの調整を行いながら、経営の安定と向上を目指します。

《 とちのみ 》

【目標】

住み慣れた地域で生活し続けるために、地域との協働を図りながら、多種多様なサービスの組み合わせ看護と介護の連携で支援しながら、必要とされる事業所を目指します。また、施設の老朽化に伴う改修工事を行っていきます。

【基本方針】

1. 利用者等の負担を最小限にできるよう事業の継続を図りながら改修工事を行っていきます。
2. 利用者の思いをくみ取ることができ、お一人お人を大切にケアを行っていきます。
3. 主治医や関係機関と連携し、生活の場にあった看護と介護を柔軟に組み合わせて、慣れ親しんだ地域で安心して充実したときが過ごせるように支援を行っていきます。
4. 事業継続計画（BCP）に沿って実際に訓練を行なっていきます。
5. 職員の専門性の向上を図り、質の高いサービスを目指します。
6. 平均稼働率80%以上を維持できるよう、経営の安定化に努めます。

《 とちのみ 訪問看護事業所 》

【目標】

利用者や家族の生活習慣や価値観を尊重しながら「住み慣れた地域で、その人らしく安心して最期まで療養生活ができる」ように看護サービス実施を目指します。

【基本方針】

1. 利用者のご家族が安心して在宅生活ができるよう、利用者の状況に応じた対応をし、個別性をも

った支援を行います。

2. 疾病の早期発見、悪化予防に努め、居宅介護支援事業所、かかりつけ医、サービス事業所等、各関係機関と密接な連携を図り、継続した支援を提供します。
3. 職員の専門性を高め、質の高いサービスを提供します。
4. 経営改善に努めます。

《リフレッシュセンター》温泉・プール・健康教室

【目標】

健康づくりの拠点として温泉プールを活用した事業を中心に、幅広い年代の方への継続的な健康・体力づくり活動に取り組み、地域住民の方へ柔軟なサービス提供に努めます。

【基本方針】

1. 温泉プールを中心とする運動教室の推進や地域住民のニーズに応じたプログラムの提供に努めます。
2. 温泉・プールの利用促進に努めます。
3. 交流、情報交換の場として施設の活性化に努めます。
4. 自宅でも健康・体力づくりが出来るよう「つどエール」アプリの活用や普及に努めます。

《リフレッシュセンター》栄養・配食

【目標】

「おいしい食事」「安全な食事」「楽しい食事」を基本に食事の提供を行い、住み慣れた地域でいつまでも暮らせるよう健康づくりを支援します。

【基本方針】

1. 衛生管理の徹底に努めます。
2. 利用者の希望を取り入れメリハリのある食事作りに努めます。
3. 他部署と連携しながら低栄養の予防・改善ができる食事を提供します。

《住宅型有料老人ホーム さくらんぼ 瑞光》

【目標】

利用者の価値観、生活背景を把握し個別のニーズに基づいた生活支援を行い、居心地の良い安心して生活を送れる住まいを提供します。

【基本方針】

1. 自宅での生活の延長線と考え、利用者の生活習慣に添った生活がおくれるように支援します。
2. 地域との交流をもち、地域の一員として生活できるよう努めます。
3. 身近な相談者として、日常生活の困りごとに対して解決できるように支援します。

《事業所名 高齢者生活福祉センター》

【目標】

自宅での生活が困難となった独居・高齢者世帯に対し、一定期間住居を提供し、整った環境の下、自分でできることは自分で行うことの継続から、その力の維持を目指します。また、生活力が落ちてきた高齢者の生活の立て直しを図る機会を提供します。

【基本方針】

1. 心身の機能を維持できるようなプログラムを提案し、心身の機能低下の予防に努めます。
2. 地域との交流や趣味の活動などを行い充実した生活がおくれるように努めます。
3. 災害時など、空き部屋の有効活用にあ努めます。